

Cサポ通信 春号 No.12

2024年4月

一般社団法人消費生活総合サポートセンター(Cサポ) 会長 小野由美子
〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-7-6 川合ビル 33号室
Tel & Fax.03-6268-9873
URL <https://www.c-support.or.jp>



Cサポ設立 5年目に突入！

2024年4月

2024年度は、5年目の活動に突入しました。2023年度までの活動を振り返り、「[Cサポ4年のあゆみ](#)」を更新しました。

Cサポの活動は、皆様のご支援のおかげで、着実に実績を積み上げてきております。

2024年度を始動するにあたり、最近の Topics をお届けします。

画像をクリックすると、動画がご覧になれます ⇒



◆Topics1：第8次内閣府消費者委員会の委員決定！

第8次内閣府消費者委員会の委員に当センターの会長である東京家政学院大学現代生活学部教授 小野由美子 が選任されました。定期的に情報をお届けします！！

◆Topics2：講師派遣事業 2023年度の実績は29講座です！

2023年度は自治体・学校等への講師派遣を 29講座行いました。コロナ終息とともに市民向け講座は再び対面が中心となりましたが、職場研修や学校等ではハイブリッドで行われることも多く、引き続き柔軟な対応が求められています。また、ご依頼内容も エシカル、特別支援向け、職員研修向けなど専門化・高度化の傾向にあります。講師の皆様、2024年度もよろしくお願いいたします。

また、Cサポでは講師登録を随時行っております。是非ご登録いただき、一緒に講師活動をいたしましょう！

※講師登録手続きのご案内は、[こちら](#)からご確認ください。

(問い合わせ先 消費者教育委員会 中上：na-nakajo@c-support.or.jp)

◆Topics3：「福祉サービス第三者評価」の2023年度実績は、24件となりました！

Cサポでは、主に高齢者分野の評価を行っています。2023年度は、24件の評価(内、利用者調査4件)を実施しました。福祉サービス第三者評価を通じて、利用者の声の収集・把握に努めるとともに、事業者がサービス改善のヒントを見つけることができるよう、丁寧な評価に努めます。

(問い合わせ先 消費者教育委員会 江川：fukushi-hyouka@c-support.or.jp)

◆Topics4 : 「目黒区の消費者教育講座“スマートフォン安全教室”委託事業」を落札しました！

2024年度の目黒区の消費者教育講座「スマートフォン安全教室」を受託しました。講座は、高齢者向けで1回10名程度の規模を20回程度1年間で行う予定です。講座で使用する資料は現在作成中です。同じ内容の講座を行う予定です。Cサポの消費者教育委員会のメンバーが講師及びサポート担当となり、講座を運営します。多数の講座を不定期に行います。講師あるいはサポートのメンバーとして参加して下さる方募集しています。ご興味のある方は、ぜひ事業委員会のメールへご連絡をください。日程や謝金などの詳細をお伝えします。一緒に楽しい講座を運営しましょう！

(問い合わせ先 事業委員会 内藤: em-naitou@c-support.or.jp)

事業所の紹介 福祉サービス第三者評価

「小規模多機能型居宅介護」をご存じですか

コロナが5類に移行したことで、感染症対策に注意を払いながらですが、昨年度は利用者の方々に対面でお会いできるなど、福祉サービス第三者評価がコロナ以前の状態に戻りつつあることを嬉しく思います。

さて、評価活動を通じ興味深い介護保険サービスとして、「小規模多機能型居宅介護事業」があります。Cサポでは、毎年港区の小規模多機能型居宅介護こゆり高輪様の評価を受託しています。

利用者が住み慣れた地域で、在宅で暮らし続けることを支援する地域密着型の介護保険サービスで、利用者寄り添った丁寧なサービスが行われている事業所です。

小規模多機能型居宅介護事業では、「通い」を中心に「訪問」、「泊まり」の3つのサービスを一つの事業所で柔軟に組み合わせて提供することができ、要介護状態の高齢者の生活を24時間サポートすることができます。

もう一つの特徴として、訪問介護や通所介護が利用時間に応じて料金が変わるのに対して、こちらは月額定額制で、利用者の状況に応じ柔軟にサービスを組み合わせることができる点が挙げられます。ケアマネージャーが利用者目線で利用計画を立案してくれます。また、全サービスを顔なじみのスタッフが提供できるため、利用者にとって安心感があり、在宅生活を継続するうえでの大きなメリットといえます。

このサービスが創設されたのが2006年と新しいためか、在宅生活の継続のために重要なサービスであるにもかかわらず広く知られていないのが残念です。この場を借りてご紹介させていただきます。(福祉サービス第三者評価委員会 小縄)



【事業委員会】2023年度 新宿区 消費者講座 全8回 終了しました！

2023年度受託事業の新宿区消費者講座8回シリーズが無事終了しました。Cサポメンバーの多くの方にご協力いただきスムーズな進行ができましたこと大変感謝申し上げます。

8回の内容は、「①親子で学ぼう！子どものおこづかい・お金の使い方、②スマホで学ぼう！家庭内のヒヤリハット(幼児・高齢者見守り編)、③これだけは知っておきたい！キャッシュレス決済の基礎知識、④ここがポイント！ネットショッピングの注意点(スマホ体験型)、⑤家庭洗濯とクリーニング店を使い分けることがサステナブル、⑥手肌と環境に優しいサステナブル掃除術、⑦投資デビューの基礎知識～NISAとiDeCoを中心に～、⑧エシカルな手作りチョコでちょこっとバレンタイン」というラインナップでした。タイトルだけでも多岐にわたる講座を行ったことが伝わるのではないかと思います。参加者の皆さまからもご好評を賜り、どの回もCサポとして充実した経験ができました。

これからもレベルの高い内容で、ますます充実した運営を行えるよう頑張りたいと思います。

(事業委員会 内藤)



画像をクリックすると、動画ダイジェスト版がご覧になれます！

これだけは知っておきたい！キャッシュレス決済の基礎知識

ここがポイント！ネットショッピングの注意点
(スマホ体験型)



エシカルな手作りチョコでちょこっとバレンタイン

お役立ち情報

内閣府 消費者委員会

消費者委員会は、2009年9月に消費者庁と同時に内閣府に設置されました。消費者問題について、自主的に調査や審議をして意見表明をしたり、内閣総理大臣等の諮問に応じて調査や審議もします。小野は昨年9月から毎週のように内閣府で開催される会議に出席していますが、その内容は動画配信等でも公開されています。本会議のある日は、非公開の委員間打合せも別にあって次の本会議に向けた準備をしますが、議題の範囲は幅広いものですから、事前の勉強が欠かせません。

現在は、次期の消費者基本法の策定に向けた、消費者委員会による消費者基本計画の検証・評価・監視が大きな議題の一つであり、先日はその意見案を公表したところです。最終的には40ページ以上になりそうな内容で、3つの柱は「新しい消費者問題」「従来からの課題への抜本的な対策」「消費者政策の基盤整備」です。新しい消費者問題としては、「デジタル社会における安全・安心の確保」「AIと消費者保護の在り方」「取引の国際化への対応」「複雑化、多様化する決済制度の透明化」「食品ロスへの対応」があります。また、従来からの課題への抜本的な対策として「高齢者、障害者等要支援消費者の権利擁護の充実」「生命・身体の安全の確保」「消費者に不利益をもたらし得るビジネスモデル対策の徹底」「特保・機能性表示食品の課題等への対応」「消費者教育の推進」があげられます。そして、消費者政策の基盤整備には「環境変化に応じた消費者法制度の根本的・抜本的な見直し」「消費者行政におけるEBPM等の推進」「消費者団体の活性化」「事業者・事業者団体による消費者志向経営の推進」「消費者行政の体制整備」があります。

消費者委員会では関連動画の配信もしていますのでご案内します。

消費者委員会公式 [SNS](#) [公式YouTube\(動画・ライブ\)](#) [公式X](#)

消費者教育支援センター： [消費者教育シンポジウム「学校における消費者教育・金融経済教育のこれから」](#)

2024年 6月28日、10:20～16:30 国立オリンピック記念青少年総合センターで消費者教育シンポジウムが開催されます。

今回のテーマは「学校における消費者教育・金融経済教育のこれから」
第2部のパネルディスカッションには、当センターの会員でもある弁護士の平澤慎一先生が登壇されます！ぜひお申し込みください！！

詳細はちらしをクリック！



国民生活センター [「国民生活」](#)

国民生活センターの広報部からの情報提供です。

特集 新たな移動サービス MaaS の現状と今後

1 日本産 MaaS の特徴と現状

【執筆者】牧村 和彦(一般財団法人計量計画研究所 理事、東京大学博士(工学)、神戸大学 客員教授)

2 高齢化と人口減少が進む日本における MaaS への期待と課題

【執筆者】坊 美生子(株式会社ニッセイ基礎研究所 生活研究部 准主任研究員)

○消費者教育実践事例集

第119回 SDGs 達成のために「エシカル消費」を学ぶ－高等学校での授業実践－

【執筆者】青崎 孔(長崎県消費生活センター 消費者教育推進員)

※次号予告 来月5月号(5/15 掲載)の特集は「子どもとデジタル社会」を予定



東京都消費生活総合センター：

Web 版消費者教育読本「[ちえとまなぶのず〜っと役立つお金の話〜](#) [キャッシュレス決済に挑戦してみよう〜](#)」

特別支援学校高等部・若者向けにキャッシュレス決済の基礎知識を学べる Web 教材です。タブレット端末で一人ずつ操作しながら、楽しく学べる教材です。当センターの会長である小野由美子先生、顧問の江國泰介様、窪田が作成にかかわっています。

……特別支援学校でなくても、試してみしてほしいです……

ぜひ、キャッシュレス決済も含めたお金の管理を
ゲーム感覚でお試ください。



掲載記事は会員の皆様の活動報告、情報提供など随時募集しています。ふるってご参加ください。

ご連絡は広報委員会へ。(問い合わせ先 広報委員会窪田：kouhou@c-support.or.jp)

